

石井直樹社長

MOEX Offshore 2007 LLC

「メキシコ湾における原油流出:財政的信用を伴った被害回復の確保(第II部)」  
国土安全保障及び政府活動に関するアメリカ合衆国上院委員会、連邦財政運営、政府情報、  
連邦サービス及び国際安全保障に関する小委員会

2010年7月22日

Carper 議長、ランキングメンバーである McCain 議員及び小委員会の著名な委員の皆様、本日の公聴会で証言させていただく機会を頂戴できましたことに対し、御礼申し上げます。私は、テキサス州ヒューストンに本拠を置く MOEX Offshore 2007 LLC (「Offshore」)の社長、石井直樹でございます。Offshore はノンオペレーターとして、掘削リグ「Deepwater Horizon」が掘削を行っていたミシシッピ・キャニオン 252 区画において 10%の少数権益を保有しております。

この度の「Deepwater Horizon」による悲劇的な事故に接し、私共は深い悲しみに包まれております。爆発によってお亡くなりになられた方々のご家族をはじめ、原油流出によって影響を受けている全ての方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。私共は、本事故がメキシコ湾岸に与える深刻さを認識し、本事故に対応している、あるいは事故原因を調査している全ての関係者に対して引き続きご協力していく所存です。

Offshore はミシシッピ・キャニオン 252 区画のノンオペレーター且つ少数出資者です。私共は地質評価を行い、有望な鉱区あるいは油・ガス田に投資することを専門としており、原油・ガス開発のための実際の現場操業や活動は行っておりません。通常、メキシコ湾における掘削作業では、掘削請負業者の選定・管理、掘削計画の策定・実施、技術・設計に関する全ての決定、暴噴の際の原油流出阻止、さらには流出原油への対応や関連して起こり得る申し立てに対する支払いの処理等、オペレーションに関わる全ての事項は、本件においては BP 社にあたるプロジェクトのオペレーターがその責任を負っております。

Offshore はメキシコ湾での深海坑井の掘削作業における BP 社の専門的知識及び経験に信頼を寄せ、本プロジェクトへの投資を決断いたしました。Offshore は「Deepwater Horizon」の選定や同リグによる作業実施には関与しておりません。Offshore が本プロジェクトに出資した時は、米国政府が掘削計画を承認し、掘削作業が既に開始されておりました。ノンオペレーター且つ少数出資者としての Offshore は、契約上掘削計画を変更する権限がなく、その上、掘削計画の妥当性に疑念を抱くこともございませんでした。

掘削作業中、Offshore は BP 社から掘削作業の進捗について限定的な情報提供を受け、ノンオペレーターの職務であるプロジェクト費用に関するモニタリングを行っておりました。Offshore は BP 社のオペレーションに関する決定に影響を与えようとしたことはなく、契約上、実施されていたオペレーションや活動をコントロールする、あるいは監督する権限もございませんでした。

Offshore は通常ならぬ本事故を取り巻く状況について極めて大きな関心を有しており、現在進められている事故原因についての調査活動を注視しております。私共は、暴噴坑井から回収される原油に対して有する全ての権利、資格あるいは利益を放棄することを表明いたしました。回収された原油の販売収益が今回の悲劇的な事故によって影響を受けている方々へのご支援とメキシコ湾沿岸の自然環境の回復のための一助となることを希望しております。

Offshore は、メキシコ湾沿岸の原状回復と地域住民の方々の業務再開のため、誠意を持って米国議会、行政機関及び州・地方政府と協働して参ります。

この公聴会でご質問なされたい点がございましたら、喜んでお答え申し上げます。私共の本件に関する考え方をご説明させていただく機会を頂戴できましたことに改めまして御礼申し上げます。